

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北陸)		タクシー運転手	来客数の動き	・忘年会などで12月は忙しかった。平日でも人出があった。特に週末を中心に前年より人出があった。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・新規加入の問い合わせ件数が増えている。また、新サービス開始の効果もあって、ここ3か月は契約件数が好調である。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	来客数の動き	・10月末、近隣に有名店がオープンした。この影響によって、今月は特に若い年齢層の集客が多かったように思われる。集客が本当に多い月であった。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	来客数の動き	・少しずつではあるが、来客数が増え、売上も若干伸びている。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・クリスマスシーズンの3連休は好調に推移して、12月度売上高においてもギリギリ前年実績をキープする見込みである。中間層の購買は依然として慎重な姿勢に変わりはないが、円安株高により富裕層の購買意欲が旺盛とみられる。高額商品の動きは堅調に推移して、回復傾向にある。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・小型車ではあるが新型車が発表されたので、順調に受注に結び付いている。懸念されるのは、同一メーカーで全ての販売店での発売であるため、競争の激化が見込まれる点である。
		一般レストラン（店長）	それ以外	・年末年始の予約状況を見ると、例年より上向いているようである。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・常連客が高齢になり、来店回数は減っている。しかし、新規来客により、12月としては例年より若干良かった。駅前の居酒屋は忙しいと聞くが、利益は薄いということである。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・ビデオオンデマンドサービスや、スマホ向けの新たなテレビチャンネルの開設など多様なテレビサービスが出現している。これに刺激された形で専門チャンネルへの関心が高まっている。その効果などにより、テレビサービスの契約数が過去の実績を大きく上回り、伸びてきている。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・来客数が多少は増えており、成約数も多少は伸びてきている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・期末が迫り、受注は前月比約40%弱の伸びを示した。問い合わせ量は平均で前年比増加となっており、それなりに見込み先が確保できている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・例年どおりにセーターや小物など贈り物が出ている。大きな変化はない。
		商店街（代表者）	それ以外	・前年が暖冬であったため、気温の低下と共に婦人物衣料、ブーツなどの履物の需要が出てきている。ただし、来客数、購入単価共に増加しているとまでは言えない状況である。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	来客数の動き	・来客数には動きがみられず、回復傾向が感じられない。
		一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	販売量の動き	・販売量の動きは上向きではないが、下向きでもない。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・ボーナスの支給月であり、贈答品が増えて例年であれば売上が見込める月だが、今年は買い控えやセール待ちの様子がうかがえた。高額商品の動きが特に悪い。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・今年のクリスマスシーズンは3連休であるため、来客数が増えて売上が大きく伸びると見込んでいる。しかし、競合店の出店の影響を受けている店舗があり、平日の来客数は減少するとみている。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・クリスマス、年末商戦が激化するなかで、一部の野菜などで価格が高騰したものの、販売量は昨年並みで推移した。
		スーパー（店舗管理）	来客数の動き	・12月に入り来客数が減少している。現状は販売点数増によって客単価が上がっている状況である。決して景気が上向いているとは考えられない。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・クリスマス商戦では多少の落ち込みがあったが、ほかの部門では変化はみられない。

衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・先月から今月の初めにかけて、オーダーシャツの30%オフのセールを20日間ほど行った。DMを中心に、それほどPRをしているわけではないが、通常の2倍も売れた。目新しさと安さが要因と考えられる。客は安くなるチャンスを待っているのだと実感した。
衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・土日が比較的、天候に恵まれたので、来客数は何とか維持することができた。
衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・衣料品の中でもファッション性の高い、中～高級品はなかなか伸びない。セール品も含めて、リーズナブルな価格帯の商品に客の目が向いている。
家電量販店(店長)	販売量の動き	・暖房機器の売行きが悪いが、エアコンは昨年の販売数を超えてきている。
家電量販店(本部)	販売量の動き	・地域差は多少あるものの、総じてあまり変化がない。
乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・乗換えずに車検の予約をする客が多く、販売量がなかなか増えない。
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新車、中古車の販売は、なかなか受注が取れない状況が続いている。修理、車検などに関しては、計画以上の入庫がある。
自動車備品販売 店(役員)	お客様の様子	・降雪による冬物商品の動きは例年並みである。しかし、客単価は昨年と比較すると下がっており、できるだけ低価格の商品にしたいとの希望が多い。また、長期間使用しているケースが多く、交換を勧めても断られる。使えるだけ使いたいとの声を多く聞く。
その他専門店 [酒](経営者)	販売量の動き	・今月はお歳暮商戦となるが、前年同様に仕入れをかなり抑えた。これによって在庫口数は少なくなったが、売上は去年より少し落ちている状態である。
その他小売 [ショッピング センター]	単価の動き	・衣料、住まいの品の店頭動きが悪く、食料品を中心に前年比を維持している状態である。昨年も季節衣料や防寒用品は動きが悪かった。ようやく初雪となって、季節衣料や寒さ対策用の寝具、暖房機器、ケア用品を中心に動きは良くなった。
その他小売 [ショッピング センター](統括)	来客数の動き	・全館の売上としては、暖冬の影響や販促施策でセール企画が多く単価が下がったこともあり、前年比にはやや届いていない。来客数については、シネマが低調になってきたにもかかわらず前年比を超過している。
高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・23日からの3連休はカレンダーの曜日並びがよかった。鉄板焼き部門では前年比170%の売上を上げた。料亭部門の忘年会単価は悪かったものの、何とか例年並みの数字を確保できた。
一般レストラン (統括)	来客数の動き	・県外客の、連休や週末の予約は前年並みに戻ってきたが、平日の地元客の外出消費は少し鈍っており、よくない状況となっている。12月前半は極端に悪い状況が続き、後半に戻ってきた。
観光型旅館(スタッフ)	来客数の動き	・前年比で総売上91%、宿泊人数94%、宿泊単価100%である。個人客の宿泊人数は前年比109%となるが、15名以上の団体客減少が影響した。宿泊単価は1,000円プラスとなるため維持している。客室稼働率は昨年の96%に及ばないが、92%と健闘した。
都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・クリスマスのレストラン来客数は前年並みである。クリスマスケーキ、おせち料理は完売となり、前年を上回る。その反面、宿泊については、休日が少ないため前年より稼働率が低い。
都市型ホテル (役員)	販売量の動き	・宿泊、宴会、レストラン部門いずれも前年と同じ状況である。景気動向は変わらない。
旅行代理店(所長)	販売量の動き	・特に目立つ話題がなく、個人旅行、団体旅行共に状況は変わらない。
タクシー運転手	販売量の動き	・忘年会時期となり、金曜や土曜、祭日の前は忙しいものの、平日は静かである。12月は、県外からの観光客の仕事が入っている。
通信会社(店舗 統括)	販売量の動き	・販売量は横ばい傾向である。
通信会社(営業 担当)	来客数の動き	・来客数は現状と変わらない。販売量は若干減っているようにみられるが、誤差の範囲である。
テーマパーク (役員)	来客数の動き	・前年と比較すると、北陸新幹線開業効果が落ち着いてきた。団体客や個人客、海外からの客も前年割れとなっている。しかし、3か月前の前年比水準と比較すると、横ばいで推移している。

	その他レジャー施設（総支配人）	来客数の動き	・12月に入っても暖かな日が続き、予定よりは少ないが新規入会客は獲得できている。しかし、競合施設の新規募集案内が始まり、客としては様子見の状態となりつつある。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・請負単価に変化はないが、販売棟数は減少している。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・問い合わせやイベント来場者共に、例年と数はあまり変わらない。当初は若干少ない状況だったが、年末間近になって問い合わせが増え、それに伴って物件案内も増えた。暖冬のおかげと考えるが、来月に向けて客の動きは良くなると見込んでいる。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・イベントを開催すると人出は多い。しかし、客の財布のひもは固く、売上には貢献しない。食料品は少し動くものの、衣料品の売上はパツとしない。今年は、クリスマスケーキの売上も芳しくないようである。
	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・12月の販売量は前年同月比でほぼ100%の見込みである。9月の販売量が前年同月比で111%であったので、3か月前との比較で下向きである。
	住関連専門店（役員）	販売量の動き	・買上点数が減少している。
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・忘年会の1団体の予約人数が、年々と減っている。予約件数は前年と変わらないが、人数及び売上が減少している。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・12月は繁忙期であるが、昨年と比べて来客数が一段と落ちている。
	x	-	-
企業動向 関連 (北陸)	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・国内市場では、11月に東京で行われた工作機械展示会の効果により受注が伸びている。また、北米市場でも、9月にシカゴで行われた展示会効果によって受注につながっている。
	司法書士	取引先の様子	・新会社設立、事業目的の役員追加などの、商業登記の依頼が多かった。
	食料品製造業（経営企画）	受注量や販売量の動き	・大小様々にプラスマイナスの要因はあるが、結局トータルでは前年同月並みで推移している。
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注環境は厳しく、自動車関連以外の全てが前年を下回っている。
	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が昨年より多い。
	精密機械器具製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・顧客企業の、特に中～高価格帯商品の在庫調整が、年末に向けて進んでいると聞いている。しかし、現在のところは、まだ仕入れのペースが元に戻ってないようである。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・この3か月間で、手持ち工事量は変わらない。特に暇でもなく、特に忙しくもない。
	建設業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・建築の工事発注量が多少、増加してきている。しかし、一部では依然として受注価格競争がし烈で、厳しい状況が続いている。
	輸送業（配車担当）	取引先の様子	・米国の次期大統領による影響で株価が上昇し、景気は良くなるとみられる。しかし、燃料の軽油がじわじわと上昇傾向であるため、コスト増となり利益を圧迫する。
	金融業（融資担当）	受注量や販売量の動き	・建設業者は工事の受注が少なく、設備投資の回復まで至っていない。
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・企業の売上が大きく伸びているとは言い難いが、一昨年以前との比較では十分に売上、収益とも確保している。法人預金は増加しており、資金繰り環境は相当に良くなっている。一方で投資案件が少なく、先行き拡大の見通しはない。
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・物件情報の問い合わせが少なくなっているという、業者の話を多く聞く。
	x	-	-
雇用 関連 (北陸)	職業安定所（職員）	求人数の動き	・直近の新規求人数は前年同月比で15.6%増、有効求人数も7か月連続で前年同月を上回っている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は8月が3,851人、11月は4,059人と5.4%増加している。
	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・昨年と比べて、求人に関して企業からの来訪者や学内企業合同説明会の問い合わせが多い。次年度に向けての企業の採用意欲の高さがうかがえる。

	人材派遣会社 (役員)	求職者数の動き	・大手企業のコールセンター業務において、多人数の需要が発生している。しかし、対応できる派遣労働者のマッチングが厳しい状況である。
	人材派遣会社 (社員)	雇用形態の様子	・新規登録者は増えているが、派遣先企業の要望と派遣スタッフの希望が一致しないケースが多々ある。
	求人情報誌製作 会社(編集者)	求人数の動き	・求人広告1回の発行で、30~40件ほど掲載が減っている。
	新聞社[求人広 告](担当者)	求人数の動き	・求人広告件数は昨年より若干減っているが、パート、アルバイトが減って、正社員に関してはそこまで下がってない。また、金額ベースでは増えており、より大きく広告を出して少しでも目立たせたい様子がうかがえる。単純な人数の補充から、正社員として長く働く社員を求める方向にあることから、景気回復の流れは変わらないとみられる。
	職業安定所(職 員)	周辺企業の様子	・一部の事業所は良くなっているとの声が聞かれる。ただし、仕事は増えて忙しいが利益がないという事業所の声が多いため、全体としては変わらない。
	民間職業紹介機 関(経営者)	求人数の動き	・受注件数は平年並みであるが、応募する人材が増えない。また、人材の高齢化がマッチングのネックとなりつつある。
	-	-	-
x	-	-	-